

超並列ジョブ (64 ノード) 実行サービスについて

システム運用係

2007 年 5 月より SR11000 における超並列ジョブ実行サービスを開始します。通常運用構成における並列ジョブは最大 16 ノード (16×16=256 プロセッサ) ですが、本サービスでは 64 ノード (16×64=1024 プロセッサ) 使用可能なバッチジョブ環境を提供します。超並列ジョブクラス P064 (キューP064) には、以下のシステム資源を割り当てます。

	超並列ジョブクラス	通常のジョブクラス
バッチキュー名	P064	P001 ~ P016
ノード数 (プロセッサ数)	64 (1024)	1 ~ 16 (16 ~ 256)
理論演算性能	約 9420 GFLOPS	約 147 ~ 2355 GFLOPS
主記憶容量*	8192 GB	128 ~ 2048 GB
実行時間制限 (ETIME)	2 時間	24 ~ 6 時間
ジョブの投入方法	#@\$-q parallel #@\$-N 64	#@\$-q parallel #@\$-N 16 (P016 の場合)

*ユーザープログラムで使用できるメモリーの大きさはノード当たり 112GB です。

P064 キューの利用は、パーソナルコース 4 とグループコース 2 の利用者とします。

本サービスは原則として

毎月 1 回、最終金曜日午後 (休日の場合は前日) ~ 翌月曜日朝 (同翌日)

に実施します。但し、メンテナンス作業等により日程やサービス時間が変更となる場合がありますので詳細はログインメッセージにて御確認下さい。なお、実施期間中はシステム構成が変更となるため、一部のサービスが休止となります。

利用可能なサービス

インタラクティブ処理用システム	sr11000-s.cc.u-tokyo.ac.jp
スカラージョブクラス	A~D
並列ジョブクラス (8 CPU/ノード)	S1, S4, H1
並列ジョブクラス (16 CPU/ノード)	P001, P004, P064, debug

休止するサービス

並列ジョブクラス (16 CPU/ノード)	P008, P016
計算リソース追加オプション用	Q001, Q004, Q008

なお、サービス内容は今後変更となる場合がありますので、御利用の際は Web ページ <http://www.cc.u-tokyo.ac.jp/> , スーパーコンピューティングニュースまたは show-info コマンドにて御確認下さい。